

わたしたち、社会福祉法人玉柏会は、地域社会の中で「ともに生きる」ことによる「しあわせ」を目指していきます。



玉 柏 会



令和3年12月11日 開催

第47回 社会福祉法人 玉柏会 創立記念式典 (理事長 海野和雄)

<特集> 『コロナ禍』での活動報告 ～密を避け楽しんでいます～

目 次

理事長より「ご挨拶」	P 2
ペアレントトレーニング・ターミナル7 / 各グループ活動報告	P 3
特集：各グループ活動報告 央原荘	P 4, 5
特集：活動報告 かりん, かしわ寮	P 6
特集：活動報告 みすず, オークリーブス	P 7
玉柏会創立記念式典 / 川柳大会 / 相談支援	P 8



社会福祉法人 玉柏会

本部 央原荘 みすず かりん
かしわ寮, すずらん, オークリーブス

〒424-0301

静岡県静岡市清水区央原362番地

☎054-394-0311 FAX 054-394-0312



「早春に想う」

「立春」

立春(りっしゅん)良い響きですね。寒さ厳しき折、加えてオミクロン株感染が拡大する中ですが、やがて来る春に一瞬ですが心浮き立つ思いがします。節分の日、宍原荘ではお菓子を配る役を年男・年女のご利用者にやってもらい、各階を回って豆まきを行いました。鬼役のご利用者が大人気で、大いに盛り上がりました。又お昼の食事は恵方巻と菜の花のおひたしで節分と春を満喫し、コロナでうつ積した空気を吹き飛ばしました。

「火定」

澤田瞳子さんの「火定(かじょう)平成29年」には、奈良時代痘瘡(もがさ・天然痘)が猛威を振るう大パンデミックが書かれています。仏教の慈悲思想の施薬院(病気の治療)や悲田院(貧窮者・孤児・高齢者支援)総出で痘瘡対策に苦闘する様子が描かれています。又痘瘡の原因が新羅(しらぎ・朝鮮半島南東部)の使節が持ち込んだものとされ、渡来人を殺せば痘瘡は終わるとの風説が流されました。まるでコロナ禍でのQアノン陰謀説やヘイトスピーチが差別感情を刺激している現況を予言しているようです。この様な絶望的な環境下でも献身的な町医者や下級官僚達の小さな力が次第にまとまって、困難な状況の一つづつ克服していくという物語が展開されていきます。私達も現下のコロナ禍に対し、科学的知見をよく見極め、徒らに風説やデマに惑わされず3密回避や手洗い・うがい・消毒・マスクの徹底を一人々々が愚直に遵守していけば困難を乗り越えていけると信じています。



社会福祉法人玉柏会
理事長

海野和雄

「縄文」

伊賀山人の伊賀の徒然草というブログの中で、縄文時代の障害者福祉～驚くべき恩寵～という一文があります。抜粋を紹介します。『1966～67年北海道洞爺湖町の入江貝塚にて今から約4000年前の縄文時代の遺跡発掘調査で15体の遺骨が発見された。そのうちの「入江9号」(以後イリエ)と名付けられた一体は頭部が普通の成人女性の大きさにのに両腕と両脚が極端に細く、とても立って歩くことができないような骨格だった。その後の調査でイリエは幼少期に小児マヒを患いほとんど寝たきりの状態であったものの死亡推定年齢約20歳までの寿命を全うした事が判明し、それまでの縄文時代観であった「弱者は淘汰される」という学会の定説を覆した。父母・兄弟や集落の人々に支えられて生きてきた事は疑う余地もない事実でしょう。乏しい食料を分かち合っていてイリエを支えてきたのは、人々に備わっている惻隠の情や慈悲の心が原動力である事は間違いない。生まれながらの障害を持ちながらも日々明るく生き抜き、ご飯を食べて喜ぶイリエの顔を見ることが却ってイリエを支える人々の幸せとなり、生き甲斐となり、人生をより豊かにする力ともなっていたであろう。障害の有無に拘わらず、人が健気に生き、笑い喜びそして楽しむ姿そのものが周囲の人々の力にもなり、それが人としての存在価値の一つにもなるのだろう。』

「DNA」

私達にもこの縄文人のDNAは確実にすり込まれていると思います。加えて玉柏会にはもう一つのDNAがあります。創立時の48年前の第一次オイルショックという困難な経済環境の中で障害の重い軽いにかかわらず困っている人はすべて受け容れ一挙に32人のご利用者と共に歩みを始めました。7代鈴木與平初代理事長や新井博初代荘長そして約30人の職員の心意気となみなみならぬ努力に心から敬意を表します。このDNAをもってコロナ封じや強度行動障害者への更なる支援活動・療育活動に挑戦していきます。

以上

小林繁一先生 ～ オークリーブス・ペアレントトレーニング ～

日常生活で必要なことがなかなか身につかず、しばしばトラブルを起こすお子様の子育てに悩む保護者の方々に、様々な場面で発生する困りごとの解決に向けて始められたのがペアレント・トレーニングです。

オークリーブスでは、平成19年から静岡県立こども病院 小児科医の小林繁一医師が続けてこられたプログラムを基に、3歳から小3までの障害をお持ちのお子様を育てていらっしゃる保護者様を対象に、令和2年度の事業所開設時から実施しています。

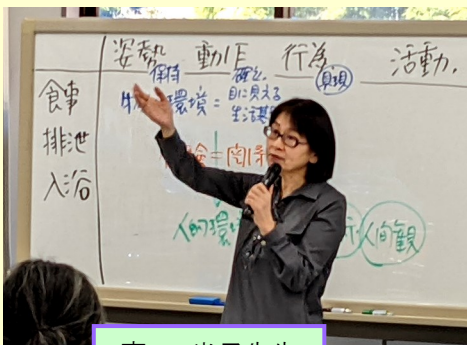
毎回6組の保護者様が全10回のプログラムで楽しく学ぶ場です。次回は、3月4日から開始予定です。ご興味のある方、ぜひ、お問い合わせ下さい。

(オークリーブス管理者 遠藤智一) ☎ 054-340-3570



小林繁一先生の講義の様子

介護アドバイザー 高口光子先生 ～ターミナルケア・その人らしい最期を～



高口 光子先生

ターミナルケアという言葉はみなさんご存じだと思います。この講義で私は高口先生の”生き抜く”という言葉に非常に感銘を受けました。

人生の終末期を死ぬまでどう生きるのか？ という考え方ではなく、人生をどう”生き抜いていく”のか？ という考え方をする事で、今後の自分の生き方についても考えさせられる講義の内容でした。参加職員からの講義に対する研修報告の中でも、「今後の支援の考え方に非常に参考になりました」という内容の報告が多くありました。

(総務部次長 小長谷英春)

【特 集】

コロナ禍でもどこにか外出する機会を設けたいと考え、なるべく人混みを避けることができるハイキングを月に一回企画しています。場所は静岡県内のハイキングコースを歩き、四季を感じられる活動となっています。事前に職員が下見を行い、ほとんど人との接触がない事を確認し場所を選択しています。

また、電車好きのご利用者が参加された際には、奥大井の鉄道を見にいくなど、嗜好に合った余暇活動を行っています。外出先での食事は屋外テラスを選び、景色を味わいながら事前に購入したお弁当を食べて頂いています。コロナ禍でなかなか外出も難しくなっていますが、楽しめる活動を行っていきたいと思います。

≪ 男性Aグループ 生活支援員 安部貴裕 ≫

穴原荘 男性Aグループ



こちらは、掛川・栗ヶ岳山頂 です。
やっぱり屋外は、空気が気持ちいい～

富士・岳南鉄道を見に行きました



絶景!!! 接叡峡温泉～奥大井湖上駅にて



ただいま
作成中!



かわいい
スイーツが
できました!

男性Bグループのご利用者の方々は様々な障害をお持ちの上、機能的に歩行が困難な方も数名いらっしゃいます。外で元気に活動される方は若干名であり、機能的に激しい活動は難しい方がほとんどです。ですからグループ内でも集団活動・小集団活動・個別活動と分けて考え、活動させていただいています。今回はその「集団活動」を紹介します。

コロナ禍の現在、外食も難しい時期もありましたので、施設内で余暇活動を楽しめることが多かったです。おもに「お菓子作り」に取組みました。

「食べる」という活動は視覚的にも強く理解でき、「食べる」というゴールがわかりやすいので、余暇活動としての導入は比較のスムーズでした。今年度から入浴後の「軽食」といった形でお菓子作りをしています。ホットケーキ・クレープ・バナナスプリットなどを作りみなさんで食べました。スイーツ系が多く、普段あまり食べられていないので反応が不安でしたが、みなさん美味しく食べていただき、嬉しいかぎりです。

現在はご利用者の目の前で支援者が作り提供させていただいていますが、今後はご利用者にも調理に参加していただく方向で考えています。《 男性Bグループリーダー 牧田孝行 》



みなさん
美味しそう!



さあ、
食べてみようかな



男性Cグループでは、コロナ禍で外出制限されている中でもご利用者に、その時期に合わせた催し物で少しでも楽しく過ごして頂けるよう、次のような取り組みを行いました。

バーベキュー

10月には、穴原荘グラウンドのあずま屋にシートを敷きテーブルをセットして、その場で焼き立ての焼きそば・フランクフルト・鮭のアルミ焼き等、皆様のお好きなメニューを召し上がって頂きました。

*

クリスマス会

クリスマスには、ケンタッキーのチキンを多めに用意しお腹いっぱい召し上がって頂きました。おやつにはシャトレゼでショートケーキをご用意させて頂きクリスマス気分を十分に味わって頂けたと思います。

新年のお正月会

新年初めの余暇活動では、特注の豪華でボリュームのあるお弁当を配達してもらい召し上がって頂きました。その後はご利用者と一緒に白玉クリームぜんざいを作り、皆様に召し上がって頂きました。

《 男性Cグループ支援員 三浦 哲 》



1月 新年会



ぜんざいよ、おいしくなあれ



10月 あずまやで
バーベキュー



12月 クリスマス会



メダルを
もらったよ♪

穴原荘 女性Bグループ

相変わらずのコロナ禍、長く続くこの状況ですが、嘆いてばかりではられません。毎月の余暇活動や水曜日課の取り組みでは少しでもご利用者が楽しめるものと今年もたくさんの行事が企画されました。

下期でご利用者の楽しみにされているイベントの一つに女性Bグループ・Cグループ合同のミニ運動会があります。恒例行事になりつつあるミニ運動会ですが、今回は新人職員に企画運営をお願いしました。特筆すべきは競技後に配布するメダルを作成することからご利用者に行っていただくという取り組みです。競技自体もいろいろな得意を活かせる設定のものが多く、多くのご利用者にスポットライトが当たりました。また、今までテントからそっと参加されていたご利用者も、回を重ねることで今回は皆さんと一緒に競技に参加することができたのです。そして最後に一人一人に渡された手作りのメダル。はじけるようなご利用者の笑顔とそれを見守る仲間たちの歓声がミニ運動会を締めくくってくれました。

企画、準備をしてくれた新人さんたちの底力にも金メダルです！

《 女性Bグループ支援員 平井美代子 》



ミニ運動会、頑張れー



さかなつり



何を染めてるのかな？



穴原荘 女性Cグループ



ローソンへ
お買い物♪

新型コロナウイルスの影響が未だ収まらない状況で、ご利用者からも「いつ、デパートへ行けますか？」「職員さんたちも出かけていませんか？」と声が聞かれています。

ご利用者の笑顔がたくさん見たい、一緒にご利用者と笑っていたい思いから荘内でも楽しんで頂ける企画を用意しました。昨年からやり始めた染物では、エコバッグを用意し好きな色、模様染めていきました。ご利用者の皆様は、昨年もやっているので模様の付け方もさすがでした。色の入り方もそれぞれで、濃く入れたい方は少し長く漬けるなど皆様工夫されていました。出来上がったエコバッグを見て、「早くこれ持ってお買い物へ行きたいね」「ローソンへ買い物に行こうよ」などの声が聞かれたので、人が少ない時間帯に少人数で近くのローソンにお買い物へ行ってきました。久しぶりのお買い物でご利用者の皆様はとても嬉しそうでした。

その他にも、お弁当をテイクアウトして多目的室で食べたり、カラオケを楽しんだりしました。普段歌わないご利用者も、グループの活動では歌うなど嬉しい事もありました。

これからも楽しんで頂ける活動を提供していきたいです。

《 女性Cグループ支援員 望月依里香 》



カラオケ楽しそう



富士サファリパーク

穴原荘 就労グループ『かりん』

かりんでは通常の作業活動に加え、コロナの感染状況に合わせた余暇活動を行っています。作業では幸いコロナの影響を大きく受ける事なく、受注作業を請け負う事が出来ています。しかし行事・イベントが今年度も中止されるなか、“毎日頑張っている作業の気分転換に”と支援員がご利用者に喜んで頂ける様な余暇内容を毎月計画しています。

かりんは男女が混在した27名の大所帯の為、10月までは3グループ程度に別れて食事を楽しむ外出が多かったのですが、10月は富士サファリパーク・11月には三津シーパラダイスへ全員で行き楽しむ事が出来ました。サファリパークでは初めて行った方もいた様で、間近にいるクマやライオン・トラに大興奮でした。11月の三津シーパラダイスではアシカやイルカショーに目を釘付けにしていたご利用者や、お土産売り場で久しぶりのお買い物を楽しむ方が印象的でした。また、12月にはクリスマス会として焼肉食べ放題へ出掛け、いつもと違った環境の食事に満足していた様子でした。

今度もご利用者の日々楽しい生活と笑顔が生まれる様に、かりんでは作業活動・余暇活動を進めて行ければと考えています。

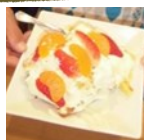
《 就労グループかりんリーダー 鈴木清張 》



伊豆三津シーパラダイスのイルカショー



チャーハン作り



シフォンケーキの泡立てはまかせて!



皆で協力して夕食に中華料理(チャーハン)や、オムライス、シフォンケーキを作りました。みんなで野菜を切ったり炒めたりして楽しい時間を過ごせました。お互いに協力して仲良く生活する場面が増え、優しい言葉がけと笑いが聞こえてきました。

自分で作った夕食は美味しい!と皆さんとても満足気な笑顔でした。また、作りましょう♪

《 第二かしわ寮 世話人 川津明子 》



こちらは、大室さん渡辺さんが種から育てた大根を使って、
☆はちみつ大根あめ☆ をつくりました(๖)๖
みんなで美味しくいただきました。
ごちそうさまでした。



オムライスの完成!





クレーンゲームに挑戦!



忘年会でのお食事の様子

みすずでは11月にみすず福祉祭り、12月に季節の活動(冬)と忘年会を行っています。みすず福祉祭りではコロナ禍ということもあり昨年と同様にご利用者と保護者様のみの参加とさせて頂き、さらに午前と午後で分けることで密にならないような形で開催しました。外部の方を招いての大々的な催しが出来ない中で参加者にいかに楽しんで頂くかを考え、クレーンゲームのレンタルや昨年人気だった射的、販売では栄原荘の販売やキッチンカーに来て頂いたことで簡素ながらも華やかに開催することができたように思います。来場された方からも喜ぶ声が聞かれました。

季節の活動(冬)ではクリスマスイメージした活動の中で、感染症予防を十分にとりながら地域の方やオークリースとの初の交流を実施しています。忘年会では今年初の外へ出での活動を行いました。静岡駅近くのホテルで豪華な食事とカラオケを楽しむことができました。食事の際はアクリルパネルを使用しながら距離も十分に離れた状態で摂り、カラオケではマスクにフェイスカバーを着用してマイクを都度消毒することで実施することができています。カラオケを楽しみにしている方が多かったのも、実現できとても喜ばれていました。

《 みすず 職業指導員 稲葉洋希 》



季節の活動・冬



屋外でも元気いっぱい



コロナ禍でのオークリースの活動は、前年度と同様に検温や消毒の徹底、近隣に外出に行く場合は室内を避け、公園などでも人の少ない場所を選び、調理活動など感染の恐れが大きい活動は控え、感染症対策に注意しながら活動をしています。

色々と制限されることで、職員とご利用児共に葛藤はありますが、そのような中でも日々の関わりや会話を大切にし、ご利用児と一緒に少しでも楽しく過ごせるようにしています。

製作活動を中心に、作りたいものをご自分で伝えることができるご利用児は、作りたいものを選ぶことから始め、完成を目指した予定を職員と一緒に考え、外遊びも兼ねて海や公園に出かけ、素材集め(貝・シーグラス・流木・木の実・落ち葉など)を行い、製作活動に取り組んでいます。ご自分から伝えることが難しいご利用児は、提案をしながら四季に合わせて取り組んでいます。また、日々の様子や他ご利用児の作品を見て、興味を持ったものを職員と一緒に作るなども行っています。

凧作りでは、完成した後に海や広場に出かけ凧あげを楽しみ、嬉しさや達成感を味わうこともできています。今後も、目に見えない大切なことを意識して活動したいと思います。

《 オークリース 保育士 秋山理恵 》

令和3年12月11日土曜日、第47回穴原荘創立記念式典が行われました。

今年も昨年と同様、新型コロナウイルスの影響でご利用者と職員のみでの式典となり、保護者様と一緒に祝うことができるのを楽しみにしていたご利用者の寂しそうな姿が多く見られました。

そんな中、穴原荘の皆で創立記念を祝う為に集まり、全員で荘歌斉唱や、ご利用者表彰を行いました。一年間頑張ったことを表彰されて嬉しそうに喜ぶ姿は、支援してきた職員にとっても嬉しく感じられ、これからの励みにもなりました。

式典後はアトラクションとして、太鼓クラブによる太鼓の演奏や、穴原大抽選会を行い、ご利用者の方に楽しんで頂きました。迫力のある太鼓の演奏で賑わったり、抽選会で自分の名前が呼ばれないかソワソワし、名前が呼ばれて喜んだり、とても盛り上がりしました。来年こそは保護者様と一緒に、創立記念をお祝いできたらと心より願っています。

《創立記念式典担当支援員 高瀬 賞》



代表で吉川孝子様が抱負を発表しました。



穴原だいに披露!



式典の様子

玉柏会 “川柳大会”

この度は、コロナ禍で頑張る職員全員を対象に『ニヤリホット川柳』を募集しました。皆さんも一緒にほっこりしましょう。免疫力をUPして、新型コロナを吹き飛ばそう♡

優秀賞

特別賞



ご相談は、下記の電話へどうぞ!

電話

054-340-3565

FAX

054-340-3566

E-Mail

endo@tamagashikai.com

受け付けます

お悩み・相談なんでも

問 世界の真ん中に

いる虫は?

頭の体操♡わかるかな?

【この記事に関するご意見やお問い合わせは】

電話: 054-394-0311

FAX: 054-394-0312

E-mail: sisiharaso@po4.across.or.jp

QRコード



玉柏会では皆様のお声をお待ちしております。

すずらん

